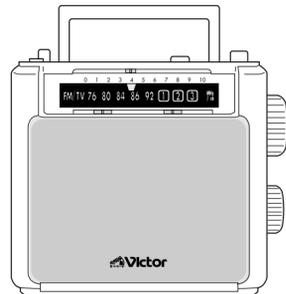


# ラジオ

## 型名 RA-H7/ RA-H5



この図は RA-H7 を使用しています。

### —お買い上げありがとうございます。—

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は、必ずお読みになり安全にお使いください。そのあと大切に保管し、必要なときにお読みください。

LVT0684-001A

ご相談や修理は
ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。 転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。
修理などのアフターサービスに関するご相談 ビクターサービスエンジニアリング株式会社
別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。
お買い物相談や製品についての全般のご相談 お客様ご相談センター
東京 ☎ (03)5684-9311 〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目14番7号 ビクター本郷ビル
大阪 ☎ (06)6765-4161 〒543-0028 大阪府天王寺区小橋町10番16号 大阪ビクタービル

ビクターホームページ <http://www.jvc-victor.co.jp/>



パーソナル&モバイルネットワークビジネスユニット  
〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1  
☎ダイヤルイン (027)254-8952

## 保証書

製造番号	製造番号
製名 RA-H7/RA-H5	製造番号
お名前	様
お住所	様
お電話	電話 ( )
お買い上げ年月日	お買い上げ日から
年 月 日	年 月 日
保証期間	本体 1年間
お住所	様
お電話	電話 ( )

本書は、本書記載内容で、無料修理を行なうことをお約束するものではありません。

保証期間中、取扱説明書及び本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無料修理をさせていただきます。商品と本書をお買い上げの販売店にご持参ご提示のうえ、修理をご依頼ください。

2. 保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、又は別紙「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。

3. 次のような場合は、保証期間内でも有料修理にさせていただきます。  
(1) 本書のご提示がない場合。  
(2) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名が記載がない場合、及び本書に記載の字句（製造番号など）を書き換えられた場合。  
(3) ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。  
(4) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。  
(5) 火災、地震、風水害、雷、その他天災地変、虫害、盗害、公害ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）による故障及び損傷。  
(6) 不具合の原因が本製品以外（外部要因）による場合。  
(7) 一般家庭用以外（例えば業務用等への長時間使用及び車載（車載用を除く）、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。

4. この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又は別紙「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.

お客様へのお願い  
1. 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名が記載されているかお確かめください。万一記入がない場合は直ちにお買い上げ販売店にお申し出ください。

2. 贈答品等で、本書記載のお買い上げ販売店に修理をご依頼されない場合は、別紙「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。

3. 転居の場合は、事前に お買い上げの販売店にご相談ください。

4. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

5. 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

修理又は

2. この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又は別紙「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。

3. 次のような場合は、保証期間内でも有料修理にさせていただきます。  
(1) 本書のご提示がない場合。  
(2) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名が記載がない場合、及び本書に記載の字句（製造番号など）を書き換えられた場合。  
(3) ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。  
(4) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。  
(5) 火災、地震、風水害、雷、その他天災地変、虫害、盗害、公害ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）による故障及び損傷。  
(6) 不具合の原因が本製品以外（外部要因）による場合。  
(7) 一般家庭用以外（例えば業務用等への長時間使用及び車載（車載用を除く）、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。

4. この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又は別紙「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.

修理又は

## 保証とアフターサービス (必ずお読みください)

### 保証書

所定事項の記入及び記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。  
保証期間はお買い上げの日より1年間です。

### 補修用性能部品の最低保有期間

ラジオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。  
この期間は、経済産業省の指導によるものです。  
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### 修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げの販売店または別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。

### 修理を依頼されるときは

この取扱説明書に従ってお調べください。それでもなお不具合のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

### 保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

### 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

### 別売りアクセサリ

- 電源コード：CN-325A (長さ 1.8m)

別売アクセサリは、お買い上げの販売店でお求めください。

## お手入れ

### ■本体のお手入れ

本体が汚れたときは、乾いた布でふいてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を少し布につけて軽くふいたあとからふき拭きます。

### <お知らせ>

- アルコールやシンナーなどは使用しない
- 化学ぞうきんを使用するときは、その注意書きに従う

## 主な仕様

—本機の仕様および外觀は、改善のため予告なく変更することがあります。—

受信周波数	TV : 4~12チャンネル FM(TV) : 76MHz~108MHz (TV1~3チャンネル) AM : 530kHz~1605kHz
スピーカー出力端子	10cm×1、インピーダンス 4Ω
実用最大出力	800mW(EIAJ*)
電源	AC100V、50Hz/60Hz DC6V、市販の単2形乾電池4本使用
消費電力	電源「入」時 4W 「切」時 1.6W(AC電源) 0.0001W(乾電池)
電池持続時間	単2形(LR14)アルカリ乾電池使用時(EIAJ*)

使用乾電池	放送	TV	FM	AM
単2形(LR14)アルカリ乾電池	約90時間	約90時間	約145時間	

周囲の温度や使用状況、電池のメーカーや種類により、上記の電池持続時間と異なることがあります。

### 最大外形寸法

幅203mm×高さ181mm×奥行128mm(EIAJ\*)  
質量 約1.4kg(乾電池含まず)

\*EIAJは日本電子機械工業会規格に定められた測定方法による数値です。

<お知らせ>  
・RA-H7の場合のみ  
本機のテレビ受信回路は、FM放送の受信回路と兼用しています。地域によっては、テレビの2chまたは3chの音声を聞いているとき、FM放送の音が混じって聞こえる事があります。

付属品

- 電源コード (1本)
- イヤホン (1個)
- 交換用スピーカーネット (1個) (RA-H7のみ)

## 安全上のご注意

### ■絵表示について

この取扱説明書と製品には、お使いになる人や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。

・表示の注意文を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危険や損害の程度を次のように区分し、説明しています。よくお読みのうえ正しくお使いください。

	<b>警告</b>	この表示の注意文を守らないと、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。
	<b>注意</b>	この表示の注意文を守らないと、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

### ●絵表示の内容

注意をうながす記号	行為を指示する記号
一般的注意	感電
禁止	分解禁止
水ぬれ禁止	

行為を禁止する記号
禁止
分解禁止
水ぬれ禁止

### ▲警告

■万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

	煙が出ている、へんなにおいがするとき
	内部に水や異物が入ってしまったとき
	落としたり、破損したとき
	電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

すぐに電源スイッチを「■切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜く。異常が発生したまま使用すると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。

■分解や改造をしない。  
カバーを外さない。

	火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
	分解禁止

■風呂場やシャワー室では使用しない。

	本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。
	水場での使用禁止

■本機の中に物を入れない。

	通風孔などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。
--	---

■電源コードを傷つけない。

	電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください
--	--

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを暖房器具などに近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

■電源プラグは根元まで確実に差し込む。

	差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。
--	--

■電源プラグは定期的清掃する。

	電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取ってください。
--	--

■本機の上に水の入った容器を置かない。

	花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。
--	---

■雷が鳴り出したら、アンテナや電源プラグに触れない。

	感電の原因となります。
	接触禁止

■表示された電源電圧(交流100ボルトまたは直流6ボルト)で使用する。

	表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。本機を使用できるのは日本国内のみです。
	This set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

### ▲注意

■電源プラグはコードの部分を持って抜かない。

	電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。
--	---

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

	感電の原因となることがあります。
	ぬれ手禁止

■置き場所に注意する。

	次のような所に置くと、火災や感電の原因となります。
--	---------------------------

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 暖房器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所
- 窓を閉めきった車の中や直射日光の当たる所

■長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

	電源スイッチが「■切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。
	電源プラグを抜く

■お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

	電源スイッチが「■切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜く

■移動するときは、電源プラグを抜く。

	接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜く

■はじめから音量を上げすぎない。

	突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。電源を入れる前に音量(ボリューム)を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。
--	---

■イヤホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにする。

	耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力障害を起こすことがあります。
--	---

■電池の取り扱いに注意する。

	電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。
--	---

- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス⊕とマイナス⊖を間違えない
- 電池のプラス⊕とマイナス⊖をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

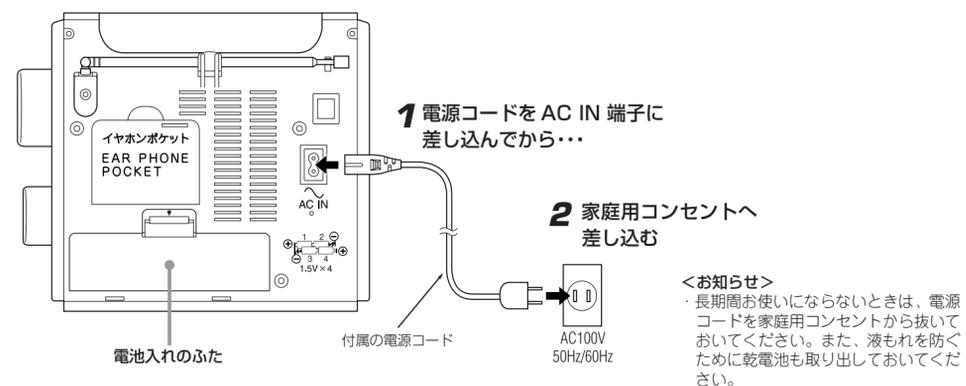
もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよくふきとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

## 電源を準備する

家庭用コンセントまたは乾電池のいずれかでお使いになれます。

### 家庭用コンセントで使う

電源コードをAC IN 端子につなぐと、乾電池が入っていても自動的にAC100V電源に切り換わります。



**1** 電源コードをAC IN 端子に差し込んでから…

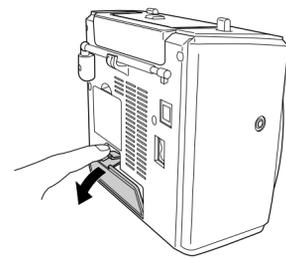
**2** 家庭用コンセントへ差し込む

**<お知らせ>**  
・長期お使いにならないときは、電源コードを家庭用コンセントから抜いておいてください。また、液もれを防ぐために乾電池も取り出しておいてください。

### 乾電池で使う

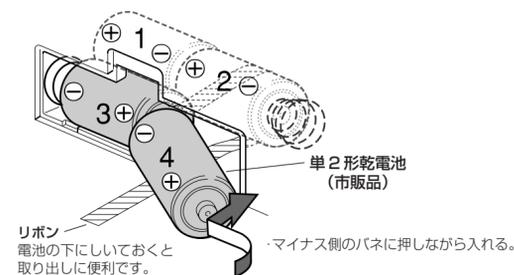
乾電池でお使いになるときは、電源コードをAC IN 端子から抜いておいてください。電源コードがつながれていると乾電池ではお使いになれません。

#### 1 電池入れのふたをはずす



#### 2 単2形乾電池4本を番号順に入れる

乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを表示どおり正しく入れてください。



#### 3 電池入れのふたを元どおりにしめる

**<お知らせ>**  
・乾電池を交換する目安  
乾電池が消耗してくると、音が小さくなったり割れたりします。このようなときは、乾電池を4本とも同じ種類の新しい乾電池（アルカリ乾電池など）と交換してください。

## ラジオを聞く

### 音質を調節する

音質選択スイッチを「高」、「中」または「低」の好みの位置に合わせます。

- ・高：高い音が強調されます。
- ・中：通常はこの位置をおすすめします。
- ・低：高い音が減衰します。

### 暗いところで選局する

照明ボタンを押します。

目盛板を照らすランプが約30秒間点灯します。

暗いところで放送局を選んだり確認がしやすくなります。

### よく聞く放送局にするしをつける

よく聞く放送局の周波数に選局目印を合わせておきます。選局目印にダイヤル指針を合わせると簡単に選局できます。

ダイヤル指針の突起部分や選局目印を指でさわって、聞いている放送局の位置を目安として確認できます。

### 1 電源スイッチを押して電源を「入」にする

電源を切るときは、もう一度押して電源を「切」にします。

### 2 ■RA-H7の場合 バンド切換スイッチを「AM」、「FM/TV 1-3ch」または「TV4-12ch」のいずれかに合わせる

■RA-H5の場合  
バンド切換スイッチを「AM」または「FM」に合わせる

バンドを切り換えると目盛板も切り換わります。

### 3 選局つまみを回して聞きたい放送局を選ぶ

ダイヤル指針を放送局に合わせます。放送を受信すると同調ランプが点灯します。

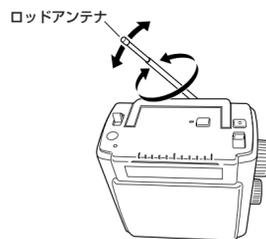
### 4 音量つまみで音量を適度に調節する

この図はRA-H7を使用しています。

### 放送局をうまく受信するには

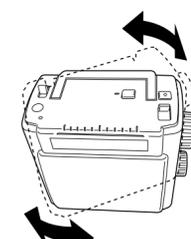
#### ■FM(TV)放送の場合

窓のそばなどが受信しやすくなります。ロッドアンテナの長さ・向き・角度を最も良く受信できるように調節します。



#### ■AM放送の場合

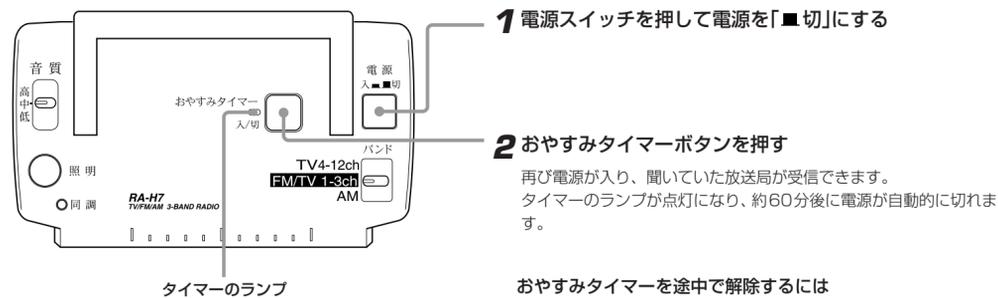
パーアンテナを内蔵していますので、ラジオ本体を最も良く受信できる向きに変えます。



**ご注意:**  
・車やビルの中などでは受信しにくくなります。できるだけ窓際でお聞きください。  
・本機に金属物を近づけると、受信状態が悪くなる場合があります。  
・持ち運びするときは、ロッドアンテナをたたんでください。アンテナが引っ掛かったり、目に当たったりしてケガの原因になることがあります。

### おやすみタイマーを使う

放送を聞きながら眠りたいときに使います。



#### 1 電源スイッチを押して電源を「切」にする

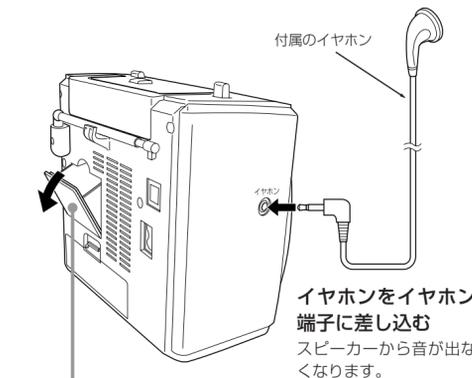
#### 2 おやすみタイマーボタンを押す

再び電源が入り、聞いていた放送局が受信できます。タイマーのランプが点灯になり、約60分後に電源が自動的に切れます。

**おやすみタイマーを途中で解除するには**  
おやすみタイマーボタンをもう一度押します。タイマーが解除になり、電源が切れてタイマーのランプが消えます。

**<お知らせ>**  
・おやすみタイマーは、電源が入っていると設定できません。電源が切れているのを確かめてから、設定してください。

### イヤホンで聞く

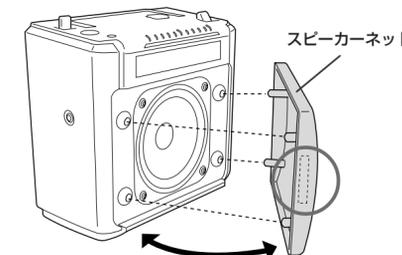


#### イヤホンポケット

使わないときは、イヤホンポケットにイヤホンを入れて置くと便利です。（お買い上げ時、ここに付属のイヤホンが入っています）

### スピーカーネットの交換（RA-H7のみ）

お好みによってスピーカーネットを付け換えることができます。



スピーカーネットを外すときは、ネット左右中央のくぼみを軽く押さえ、手前に引きます。

スピーカーネットを取り付けるときは、突起部を穴に合わせて軽く押し込みます。